

アビリンピック熊本大会2026

縫製競技練習用課題

※本番用課題と同じです。

1 課題 エプロン製作

裁断済みの支給された材料で右図スタイルのエプロンを製作しなさい。

2 競技時間 4時間00分

3 注意事項

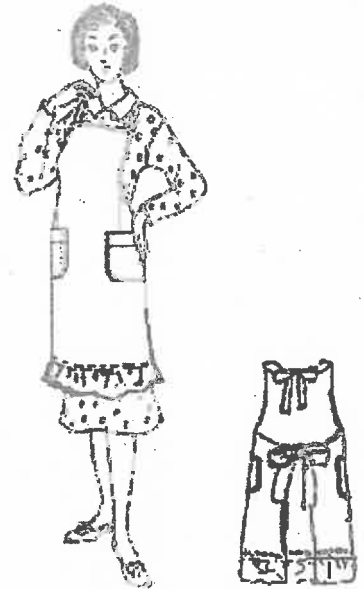
- (1) ミシンの調整は、各自で行う。
- (2) 支給材料は、欠陥のない限り再支給はしない。
- (3) 競技中の工具の貸し借りは禁止する。
- (4) 競技が終了したら競技委員に申し出る。

4 仕様

- (1) 肩 ひ も : 2cmのでき上がり幅で三方に端ミシンステッチをかける。
- (2) 腰 ひ も : 4cmのでき上がり幅で三方に端ミシンステッチをかける。
- (3) ダーツ縫い : 中縫いをする。縫い代は中心側へ倒す。
- (4) ポケット
ポケット口 : 1cm、2cmで三つ折り縫いとする。
ポケット付け : (図1)ポケットの付け方を参照する。
端ミシン、押さえ金の幅(0.6cm)のダブルステッチとする。
- (5) 見返 し : 見返し布の下側を0.5cm、1cmの三つ折り縫いとする。
- (6) 肩ひも付け : 見返しに挟み付ける。
- (7) 袖ぐりカーブ : 1cm折りで、袖ぐりから胸のステッチ幅は0.6cmの押さえ金の幅でかける。
- (8) フリル
フリル作り : できあがり幅10cm、裾、両端は0.5cmの三つ折り縫いとする。
フリル付け : ギャザーを寄せ、身頃の裾につけ(付け縫い代両端はわき縫いで挟みつける)押さえ金幅(0.6)のステッチをかける。
- (9) 脇 : 1cm、1.5cmで三つ折り縫いとする。ステッチの順序はフリル付けの後、腰ひもを挟み込み、脇縫いをする。

5 支給材料

- (1) 表地(綿ツイル) : 1着分
(裁断済みで袖ぐり、フリル上部はロック処理済み)
- (2) ミシン糸 : 1個



縫製競技使用用具一覧表

1 競技者が持参するもの

品名	規格	数量	備考
縫製用具類一式	適宜	適宜	裁ばさみ、小ばさみ、目打ち ものさし、チャコ、ステッチ定規 他必要な補助具等

2 競技場に準備してあるもの

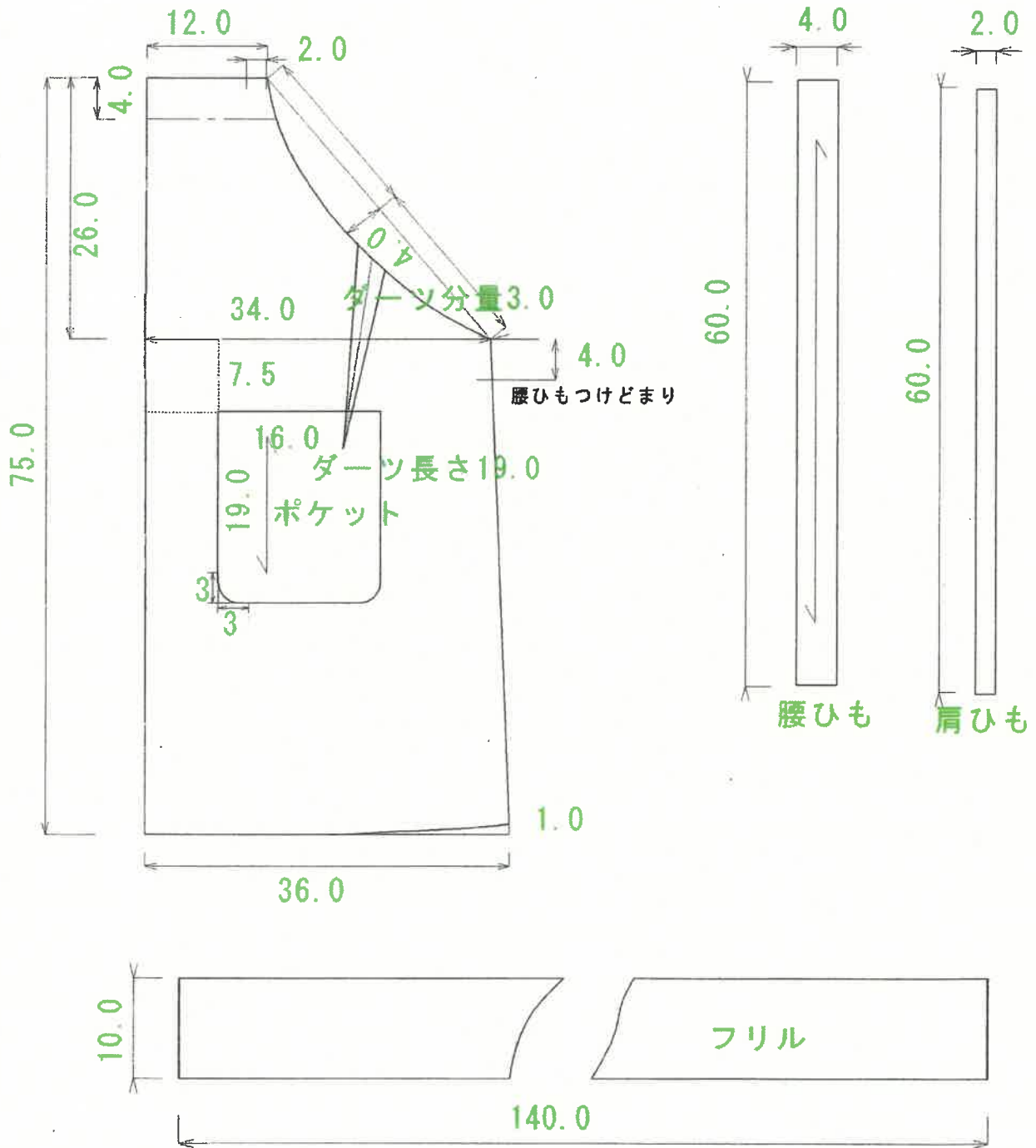
品名	規格	数量	備考	
設 備 類	作業台	1800×900×700程度	1台	1人1台
	ミシン	職業用自動糸切り	1台	
	ボビンケース		1個	上記ミシン使用者のみ
	ボビン		2個	上記使用者のみ
	ミシン針	#11	2本	職業用ミシン針
用 具	アイロン	家庭用スチームアイロン	1台	
	敷布		1枚	
材 料	表地	綿の中厚地（綿ツイ ル）	1枚分	裁断済み 袖ぐり、土台裾はバイアステープ 接着済み 袖ぐり、フリル上部はロック済み
	ミシン糸	化繊糸 #60	1本	

注1 使い慣れたミシン、アイロンを使用希望の方は持込み可能です。

なお、ボビン、ボビンケース、ミシン針は各自でご用意下さい。

注2 自分で作成した手順書や、メモを書き込んだ事前課題等は競技に持ち込むことができません。作業を補助する型紙の持ち込みは可とします。

エプロン (技能競技大会課題製図)



ポケットの付け方 図1



縫い始め
縫い終わり
重ね縫い 2 cm